

湖西大学月例報告書（4月）

国際文化学科 大塚梨奈

中間考査

4月に韓国での2回目の中間考査が行われました。中間考査の内容は様々でテスト、発表、グループワークなどがあります。わたしは韓国語の授業でテストがあり、受けてきました。難しいところもありますが、韓国語の授業のテストは比較的優しいため無事に終えることができました。韓国では中間考査の時期になると多くの学生がたくさんの時間を勉強に費やすため図書館が24時間開かれるようになります。正確には毎日24時間開いていますが、使用できる部屋が増えて、中に併設されているコンビニも24時間使えるようになります。夜中でも人で溢れている図書館を見ると本当に不思議で、とてもわくわくした気分でした。中間考査のある1日には夜に出前を図書館に頼んで、ルームメイト達と図書館の外にあるテラスで食べました。これもとても良い経験でした。

グループワーク

韓国の大学ではグループで課題を進めるという時間が日本に比べて非常に多いです。自分たちで、役割から使える時間、どのような配分で進めていくかまで全て決定して進めていかなければなりません。私も専攻科目を一つとっているのですが、そこでいよいよグループワークが始まりました。内容は、一つの商品や一つの企業を決めてそれぞれどのように広告や広報をしたら売上を伸ばせるかというものです。韓国語という壁があり難しい面もありますが、自分以外が韓国人のグループの中で自分の意見を発言することは非常に勇気がいるため、その面が一番難しいなと感じています。今後もグループワークが続くので引き続き頑張っていこうと思います。

k-move

k-moveの活動がいよいよ始まりました。これはゲーム工学科の中で日本で就職したい人を集めて日本語の授業をするという集まりです。現在はひらがなから始まっています。4月からスタートし、わたしは予定が合わずまだ2回程度しかいけていません。そのため、今後の活動はまた次回から報告していこうと思います。

バディ

バディプログラムも遂には始まりました。私のバディはチョナンキャンパスに通っている98年うまれのお姉さんでした。非常に優しく困ったことがあればいつでも助けてくれます。活動としては一緒に旅行に行く計画を立てており4月はエバーランドに行ってきた。エバーランドは韓国の中で大きい遊園地なのですが、おいしい食事を食べたりジェットコースターなどの乗り物に乗って楽しく遊んできました。また私のバディは日本に関心の

ある人なので私は韓国語を教えてもらいながら、お姉さんは知りたいことがあれば聞いてくれます。このプログラムは日本人と韓国人の非常に重要な交流の場だと思うので大切に時間を使っていこうと思います。

EMC

EMC も4月から始まりました。EMC は日本語を学びたい韓国人学生に対して会話などを通して日本語または日本の文化を教えるというものです。時給ももらうことができ今学期は1時間1000₩を週に2時間担当します。日本人の担当する時間は非常に人気が高く、全ての時間が埋まっています。日本語がかなり上手な学生もいれば、ほとんどできない学生もいますが、色々な人と友達になることができ、私も韓国の文化を学ぶ良い機会になっています。今後の活動も報告書を通してまた報告していきます。

